

【新改訳改訂第3版】

ルカ

- 1:5 ユダヤの王ヘロデの時に、アビヤの組の者でザカリヤという祭司がいた。彼の妻はアロンの子孫で、名をエリサベツといった。
- 1:6 ふたりとも、神の御前に正しく、主のすべての戒めと定めを落度なく踏み行っていた。
- 1:7 エリサベツは不妊の女だったので、彼らには子がなく、ふたりとももう年をとっていた。
- 1:8 さて、ザカリヤは、自分の組が当番で、神の御前に祭司の務めをしていたが、
- 1:9 祭司職の習慣によって、くじを引いたところ、主の神殿に入って香をたくことになった。
- 1:10 彼が香をたく間、大せいの民はみな、外で祈っていた。
- 1:11 ところが、主の使いが彼に現れて、香壇の右に立った。
- 1:12 これを見たザカリヤは不安を覚え、恐怖に襲われたが、
- 1:13 御使いは彼に言った。「こわがることはない。ザカリヤ。あなたの願いが聞かれたのです。あなたの妻エリサベツは男の子を産みます。名をヨハネとつけなさい。
- 1:14 その子はあなたにとって喜びとなり楽しみとなり、多くの人もその誕生を喜びます。
- 1:15 彼は主の御前にすぐれた者となるからです。彼は、ぶどう酒も強い酒も飲まず、まだ母の胎内にあるときから聖霊に満たされ、
- 1:16 そしてイスラエルの多くの子らを、彼らの神である主に立ち返らせます。
- 1:17 彼こそ、エリヤの靈と力で主の前ぶれをし、父たちの心を子どもたちに向けさせ、逆らう者を義人の心に立ち戻らせ、こうして、整えられた民を主のために用意するのです。」
- 1:18 そこで、ザカリヤは御使いに言った。「私は何によってそれを知ることができましょうか。私ももう年寄りですし、妻も年をとっております。」
- 1:19 御使いは答えて言った。「私は神の御前に立つガブリエルです。あなたに話をし、この喜びのおとずれを伝えるように遣わされているのです。
- 1:20 ですから、見なさい。これらのことが起こる日までは、あなたは、ものが言えず、話せなくなります。私のことばを信じなかったからです。私のことばは、その時が来れば実現します。」
- 1:21 人々はザカリヤを待っていたが、神殿であまり暇取るので不思議に思った。
- 1:22 やがて彼は出て來たが、人々に話すことができなかつた。それで、彼は神殿で幻を見たのだとわかつた。ザカリヤは、彼らに合図を続けるだけで、口がきけないままであつた。
- 1:23 やがて、務めの期間が終わったので、彼は自分の家に帰つた。
- 1:24 その後、妻エリサベツはみごもり、五ヶ月の間引きこもつて、こう言った。
- 1:25 「主は、人中で私の恥を取り除こうと心にかけられ、今、私をこのようにしてくださいました。」